

主催 / 2015子どもの未来をひらくみやぎ教育のつどい実行委員会 (022-234-0141)  
(全体参加費 500 円)

テーマ別「非行」分科会

森田ゆりさん

# いのち・じんけん を考える

非行、引きこもり、問題行動・・・それは子どもたちの発する SOS

子どもたちは、「安心、自信、自由」が感じられない時、自分らしく生きられない  
誰の評価でもなく「このままの自分が大切」と思えるには？

さまざまな困難を乗り越える力とは？・・・一緒に考えましょう



## 森田ゆりさんのプロフィール

元立命館大学客員教授。元カリフォルニア大学主任研究員。米国と日本で、多様性人権啓発、子ども・女性への虐待防止専門職の養成に30年以上携わる。1997年にエンパワメント・センターを設立し、行政、企業、民間の依頼で、多様性、人権問題、虐待、DVなどをテーマに日本全国で精力的に研修・講演活動をしている。第57回保健文化賞受賞、産経児童文化賞受賞、朝日ジャーナルノンフィクション大賞受賞。「エンパワメントと人権」「子どもが出遭う犯罪と暴力」「聖なる魂」その他著書多数

「人間はみな、生まれながらにみずみずしい個性、感性、生命力、能力、美しさを持っている」

(「エンパワメントと人権」より)

第一部 DVD 上映「虐待を越える力」

第二部 森田ゆりさんと座談会

日時 2015年10月31日(土) 10:30~14:45

場所 フォレスト仙台 022-234-0141 (実行委員会事務局)  
地下鉄「北四番丁」駅「北2出口」徒歩5分

分科会主催: 「非行」と向き合う親たちの会 (リレーションシップ・みやぎ)

連絡先 (要予約): 080-1838-7464 (星野) 080-2807-9975 (本田)

☆分科会終了後3時から、森田ゆりさんの記念講演があります。(詳細は裏面)

## リレーションシップ・みやぎ

1996年東京で、わが子の非行に悩む親と、熱心に非行問題に取り組んでいた教師の思いが集まり、自助グループ「『非行』と向き合う親たちの会」が立ち上げられました。

以来、全国各地30ヶ所で結成され、2007年4月、宮城にも設立しました。

子どもの「つまづき」には、ひとりひとり違った背景があり原因もさまざまです。

突然、或いはみるみる変化していく子どもの姿に、ほとんどの親はあわて、不安と苦しみでどうしてよいかわからず、時には、学校や地域からも非難され、ひとりで深く悩みをかかえてしまいます。しかし、子ども自身さまざまな問題を抱えていたり、大きなストレスを受けていて、内心はとても傷ついています。私たちは、子どもの「つまづき」を受け止め向き合っていく中で、悩みを共有しながらさまざまなことに気づかされています。

下記のとおり例会を行っていますが、どなたでも参加できます。お待ちしております。

### 例会の予定

8月例会	8月8日(土)	14:00~17:00	3F 研修室2
9月例会	9月5日(土)	14:00~17:00	4F 研修室3
(10月例会は検討中)		仙台市市民活動サポートセンター(022-212-3010)	

(おいでの際は 080-1838-7464 までご連絡下さい)

例会では、話すか話さないかは自由で、聞くだけの参加でも大丈夫です。お互いのプライバシーを尊重しあい、話されたことは、互いに外に持ち出さない約束です。安心してご参加下さい

2015子どもの未来をひらくみやぎ教育のつどい(主催・つどい実行委員会)

～子どもと教育について、さまざまな立場から語り合う市民のつどい～

記念講演 **森田ゆり**さん

しつけと体罰 ～子どもの内なる力を育てる道すじ～

とき **2015年10月31日** 15:00~16:30

(分科会終了後 2F ホール)

ところ **フォレスト仙台**

お問い合わせ: 2015子どもの未来をひらくみやぎ教育のつどい事務局(022-234-0141)